

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		佐々木香代子	所 属		留学生センター
職 名				准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	①授業内容およびレベルが履修登録した学生のニーズに合うよう、授業実施前にアンケートを行い、その結果を基にシラバスに適宜変更を加える、あるいは、学習者の反応を見て教材に修正を加えるなど授業の質の向上に努める。 ②留学生を受け入れている指導教員のためのインフォメーションブックを更新する。		0.20	①授業内容およびレベルが履修登録した学生のニーズに合うよう、授業実施前にアンケートを行い、その結果を基にシラバスに適宜変更を加える一方、教材に修正を加え、授業の質の向上に努めた。 ②留学生を受け入れている指導教員のためのインフォメーションブックを10月に更新、配布した。
研究	0.30	①科研費(基盤研究(C))の助成を受けて行った県内高校生を対象にした沖縄語使用/理解についてのアンケート調査のデータを分析し、発表をする。 ②今年度が科研の最終年度にあっているので、報告書を作成し、協力していただいた県内の高校に送付する。		0.30	①科研費(基盤研究(C))の助成を受けて行った県内高校生を対象にした沖縄語使用/理解についてのアンケート調査のデータを分析し、社会言語学会第32回大会(9月)で発表した。また、同学会33回大会(3月)でも発表する予定である。 ②今年度が科研の最終年度にあっているので、報告書を作成した。現在、協力していただいた県内の高校に送付中である。
社会貢献	0.25	①昨年度より取り組んでいる知的障害児の言葉の獲得および文字学習のための教材を、他学部の教員および学外の障害児教育従事者と連携しながら、さらに開発を進める。 ②8月下旬に予定している「障害児基礎教育研究会」の沖縄での大会実施に協力する。 ③学外の研究者等とともに開発を進めている「外国人のための沖縄語理解教材」の作成を進め、完成に近づける。		0.25	①昨年度より取り組んでいる知的障害児の言葉の獲得および文字学習のための教材を学外の障害児教育従事者と連携し、研究補助員制度を活用して、開発を進めた。開発した絵教材を誰もが自由にダウンロードして使用できるようにするため、12月にHPを公開した。 ②8月24日(土)に沖国大で開催した「障害児基礎教育研究会」の大会実施に協力した。また、①の絵教材についてポスター発表および作品展示を行い、来場者からのFBを受けた。 ③学外の研究者等とともに開発を進めている「外国人のための沖縄語理解教材」の作成を進めたが、完成には至らなかった。
管理運営	0.10	①ハラスメント相談室相談員として、対応に努める。 ②留学生センターの災害対応システムを構築する。 ③災害時の対応や安否確認の方法等についての情報を記載した携帯用の「災害時安全確認カード」を作成し、留学生に配布する。 ④日本語教育副専攻の副主任として、学生の履修指導およびカリキュラムの調整に務める。		0.10	①ハラスメント相談室相談員として、対応に努めた。 ②留学生センターの災害対応システムを構築し、センターで行っている授業の受講者を国際課が把握し、災害時に安否確認ができるようにした。 ③災害時の対応や安否確認の方法等についての情報を記載した携帯用の「災害時安全確認カード」を作成した。印刷・配布は来年度の予定である。 ④日本語教育副専攻の副主任として、学生の履修指導を行う一方、学生が副専攻科目を履修しやすい環境を整備するため、カリキュラムの調整に努めた。
進路指導	0.05	①オープンキャンパスに参加し、来訪した留学生に情報を提供する。また、日本人学生に対しては、「短期留学」の宣伝に努める。県内の日本語学校に、オープンキャンパスの案内を出す。 ②在籍する留学生からの進学相談に対応・指導する。 ③琉大に進学を希望する学外からの問い合わせに対応・指導する。		0.05	①7月20日(土)のオープンキャンパスに参加し、来訪した留学生に情報を提供した。また、高校生に対しては、「短期留学」の宣伝に努めた。県内の日本語学校および留学生の就職先、インターンシップ先には、オープンキャンパスの案内を出した。 ②在籍する留学生からの進学相談に対応・指導した。 ③琉大に進学を希望する学外からの問い合わせに対応・指導した。
国際交流	0.10	①地域の小中高等学校の児童・生徒と留学生との交流を促進する。 ②久米島ホームステイを9月に実施する。ステイ期間中に留学生と久米島の児童・生徒が交流できるように、久米島の小中高等学校と調整する。 ③留学生まつりを7月6日(土)に実施し、留学生と地域の人々との交流を図る。なお、病気や事故などが起きないように、留学生の指導に努める。		0.10	①地域の小中高等学校の児童・生徒と留学生との交流を促進した。とりわけ那覇西高校の要請に対し、外国語の授業協力を含め、交流を促進した。 ②琉球大学同窓会久米島支部および久米島商工会の協力の下、ホストファミリーを確保し、久米島ホームステイを9月13日(金)～16日(月)に実施した。ステイ中、留学生が久米島高校の生徒にお国紹介をし、交流する機会を設けた。 ③生協との共催で、留学生まつりを7月6日(土)に実施し、留学生と地域の人々との交流を図った。まつりには、新聞社が取材に訪れ、カラー記事で紹介された。病気や事故等も起きなかった。
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	武藤 彩加		所 属	留学生センター	
職 名			職 名	准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	<p>①「日本語研修コース(大学院前予備教育)」4月期および10月期のコーディネーターとして、プログラムをスムーズに遂行できるよう努める。</p> <p>②「日本人学生ボランティア」のコーディネート業務を以下の通り実行する。</p> <p>a) 日本人学生向けの登録説明会の実施(4月19日(金)および10月18日(金))</p> <p>b) 日本人学生が日本語クラスへ参加する際の取りまとめ</p> <p>c) 留学生と日本人学生のペア(グループ学習)の取りまとめ(個別学習支援)</p> <p>③「華中科技大学(中国)サマープログラム」のコーディネーターとして、プログラムをスムーズに遂行できるよう努める。</p>	0.30	<p>①コーディネートしている日本語研修コースについては今年度も無事に運営を行い、滞りなく終了している。また講義だけではなく、授業外でも、時には土日も対応するなどして学習面、生活面の両方からケアを行なっている。</p> <p>②日本人学生ボランティアについても予定に挙げた責務を全て果たし、留学生と日本人学生がともに学び合う場を提供する機会を作るために積極的にコーディネートした。</p> <p>③実施に向け、プログラムの目標、内容および予算等を検討し、華中科技大学と打ち合わせを行ったが、先方の都合により、取りやめとなった。</p> <p>④後期より、大学院生・研究生のためのコースのコーディネート業務も加わり、さらに、「短期留学プログラム(URSEP)」のコーディネート業務も新たに担当した。特に工夫した点は、院生・研究生コースについては、プレースメントテストおよび履修指導を今回より導入し、受講者がより適切なレベルとニーズに合ったクラスに配置されるように配慮した。URSEPについては、定期的に日本人と交流する機会をアレンジし、日本語学習の動機づけを高める配慮をした。</p>	
研究	0.30	<p>①科学研究費補助金による研究(基盤(C)、「複数の言語における『味を表す表現』に関する調査研究」,研究代表者)を計画通り進める。</p> <p>②学術雑誌や学会での口頭発表等、研究の成果の発表を積極的に行う。</p>	0.30	<p>①科研費による研究を予定通り進めた。現在は、2014年3月にハワイ大学で研究調査を行うべく、先方との調整等の準備を進めている。</p> <p>②上記の研究成果の一部について、論文および学会等において発表を行った。</p> <p>【研究論文】</p> <p>(1)「日本語学習者による『テクスチャー(食感)表現』の使用」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』第8号,2013年3月,27-38頁(査読有)。</p> <p>(2)「韓国語における『味を表す表現』の類型化—日本語と韓国語の比較を通して」『韓国日本語学会論文集』第37号,2013年9月,17-35頁(査読有)。</p> <p>【発表】</p> <p>(1)「韓国語における『味を表す表現』の収集と分類」,韓国日本語学会第28回学術発表会(2013年3月23日),於韓国・東国大学校(査読有)。</p> <p>(2)「韓国語母語話者は「食感」をどう表現するか—日本語母語話者との比較から—」,沖縄県日本語教育研究会2011年度研究発表会(2013年3月1日),於琉球大学,(査読無)。</p> <p>(3)「『食感』表現使用の言語差—日本語母語話者と韓国語母語話者との比較—」,韓国日本近代学会第28回国際学術大会(2013年,10月26日),於沖縄国際大学,(査読有)。</p>	
社会貢献	0.10	<p>①地域の小学校児童と留学生との交流会を引き続き企画・実行する。既に予定されている交流会は以下の通りである。</p> <p>・6/7(金),宜野湾市立長田小学校との交流会</p> <p>・7/5(金),中城村立中城中学校との交流会</p> <p>②留学生センター主催の「留学生まつり」をセンター教員と協力し実施する。</p>	0.10	<p>①前年度に引き続き、複数の交流会を企画・調整・実施した。</p> <p>(1)6月7日(金):宜野湾市立長田小学校(訪問および交流会(日本語のプレゼンテーションを含む))</p> <p>(2)7月5日(金):中城村立中城中学校(訪問および交流会)</p> <p>(3)11月22日(金):宜野湾市立長田小学校(訪問および交流会(日本語のプレゼンテーションを含む))</p> <p>(4)12月6日(金):沖縄県立知念高校(訪問および交流会(沖縄文化に関する共同の調べ学習))</p> <p>(5)12月25日(水):沖縄県立知念高校(琉大における交流会(日本語のプレゼンテーションを含む))</p> <p>②センター教員間で連携し無事実施した。</p>	
管理運営	0.10	<p>①短期留学プログラム実施委員会(カリキュラム部門),短プロ実施委員会(コーディネート部門),学生生活委員会,学生支援・指導専門委員会,学生生活実態調査委員会,日韓共同理工系学部留学生事業実施委員会等の委員として委員会活動に積極的に参加する。</p> <p>②日本語能力試験のための模擬試験をコーディネートする(6/8(土)予定)。</p> <p>③沖縄県日本語教育研究会をコーディネートする(3月上旬予定)。</p> <p>④人文社会科学研究所・観光学研究所の入試問題作成員として問題作成や採点業務などを行う。</p>	0.10	<p>①定められた会議およびミーティングにはすべて出席し、資料を作成する等、学内の管理運営に貢献した。</p> <p>②日本語能力試験のための模擬試験をコーディネートし実施した(6月8日(土)実施)。</p> <p>③研究会のコーディネートは別の教員が担当となったが、司会や準備を行う等、センター教員と連携して業務を行った(2月22日(土)実施)。</p> <p>④人文社会科学研究所・観光学研究所の入試問題作成員として問題作成や採点業務などを行った(3月1日(土)実施)。</p>	
進路指導	0.10	<p>①特に私費の学生(研究生・および大学院生)については、奨学金の応募等も含め指導教員と連携して指導にあたる。</p> <p>②研究室に在室中は常にオフィスアワーとして活用し、学生の相談には常に真摯に応じ適切な助言を心がける。</p>	0.10	<p>①研修コース受講生のみならず、修了した学生からも日本語学習,および進学についての相談を受けアドバイスしている。また、奨学金の応募や進学時に必要な推薦書を作成するなどの協力を行っている。</p> <p>②今学期は特にメンタルな面でケアを必要とする学生がおり、指導教員や国際課と連絡を取り合いながら対応した。</p> <p>③上記に加え、短期留学プログラム(URSEP)生の指導教員としての業務も新たに行なった。</p>	
国際交流	0.10	<p>7/21(土)に大阪にて開催されるJASSO(日本学生支援機構)主催の「外国人学生のための進学説明会」へ参加し、琉球大学の教育制度等に関する的確な情報を提供し広報に努め入学希望者を獲得できるようにする。</p>	0.10	<p>①7月21日(土)に大阪で行なわれたJASSO(日本学生支援機構)主催の「外国人学生のための進学説明会」へ参加するなど、定められた職務を滞り無く遂行した。</p> <p>②3月27日(木)にニュージーランドのヴィクトリア大学とオーストラリアのキャンベラ大学で開催される留学フェア参加に向け、準備を進めている。</p>	
計	1.00	<p>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</p> <p>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</p> <p>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>	1.00	<p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名前	葦原恭子		所属	留学生センター		職名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	1. 共通教育科目「日本語ⅢC/ⅣC」(中級作文)及び「日本語ⅢA/ⅣA」(中級聴解)を担当する際、各クラスで学生のニーズ及びレディネス調査を十分に行い、学生のレベルとニーズに合わせるため極力自主作成教材を使用し、質の高い授業を行う。課題を適宜提示し、フィードバックを適切に行うことで学生の能力を効果的に向上させる。 2. 短期交換留学日本語日本文化研究コースの学生の研究レポートの指導を行い、学期末に発表会を開催できるよう指導する。 3. アジア人財プログラムの修了生に対する追跡調査を実施し、ビジネス日本語科目のシラバス改善に役立てる。 4. JASSOのショートステイプログラムの奨学金を獲得し、インターンシップ・プログラムを実施する。 5. 法文学部の専門科目である日本語教育副専攻の日本語教授法の講義で学生のニーズとレベルに合わせるため、自主作成教材を使用し、質の高い授業を行う。		0.30	1. 共通教育科目「日本語ⅢC/ⅣC」(中級作文)及び「日本語ⅢA/ⅣA」(中級聴解)を担当する際、各クラスで学生のニーズ及びレディネス調査を十分に行い、学生のレベルとニーズに合わせるため極力自主作成教材を使用し、質の高い授業を行うべく務めた。課題を適宜提示し、フィードバックを適切に行うことで学生の能力を効果的に向上させた。平成24年度の日本語ⅣCの授業については、プロフェッサー・オブ・ザ・イヤーとして表彰された。 2. 短期交換留学日本語日本文化研究コースの学生の研究レポートの指導を行い、学期末に発表会を開催できるよう指導した。中南林業科技大学の2名の学生については卒業論文発表をインターネットを通して実施させた。 3. アジア人財プログラムの修了生に対する追跡調査を東京と山形で実施した。 4. JASSOのショートステイプログラムの奨学金及び中期計画達成プロジェクト経費を獲得し、協定校から10名の学生を招聘しインターンシップ・プログラムを実施した。 5. 法文学部の専門科目である日本語教育副専攻の日本語教授法の講義で学生のニーズとレベルに合わせるため、自主作成教材を使用し、質の高い授業を行うべく努めた。		
研究	0.30	1. 科学研究補助金の基盤研究(c)「外国人のビジネス日本語能力の評価に関する基礎研究—評価システムの構築をめざして—」課題番号22520535を遂行すべく、昨年度に引き続き、国内外でBJTビジネス日本語能力テスト模擬テストとビジネス日本語Can-do statements調査を実施し、収集したデータを元に統計分析を行い、ビジネス日本語Can-do statementsを完成する。 2. 1の成果を報告書としてまとめるための準備を進める。 3. 学内外の学術雑誌に、現在執筆中の研究論文を投稿すべく、研究を進める。 4. 沖縄県日本語研究研究会で口頭発表をすべく、研究成果をまとめる。 5. 沖縄県内外でアジア人財プログラムの修了生に対する追跡調査を実施する。		0.30	1. 科学研究補助金の基盤研究(c)「外国人のビジネス日本語能力の評価に関する基礎研究—評価システムの構築をめざして—」課題番号22520535を研究代表者遂行すべく、昨年度に引き続き、アメリカ、フランス、中国、韓国でBJTビジネス日本語能力テスト模擬テストとビジネス日本語Can-do statements調査を実施し、収集したデータを元に統計分析を行い、ビジネス日本語Can-do statementsを完成し、HPを設定し広く公開した。 2. 1の成果の一部を研究論文としてまとめ、学会誌に投稿し、採択された。 3. 沖縄の地域共通語に関する研究成果を沖縄県日本語研究研究会で口頭発表した。 4. 東京と山形でアジア人財プログラムの修了生に対する追跡調査を実施した。		
社会貢献	0.10	1. 留学生によるスピーチ大会を開催し、地域に留学生のメッセージを発信する。 2. 中小企業庁の「地域中小企業の人材確保、定着支援事業」に応募し、補助金を獲得し、沖縄県内で就職意欲がある留学生を発掘し、企業との橋渡しをする。 3. 中小企業庁の「新卒者(留学生)就職応援プロジェクトコーディネート等事業」に応募し、補助金を獲得し、長期インターンシップをコーディネートし、沖縄県内外で就職する留学生の数を増やすことで地域に貢献する。 4. 那覇西高校の外国語クラスに留学生を派遣し、文化交流を推進する。		0.10	1. 留学生によるスピーチ大会を開催し、地域に留学生のメッセージを発信した。指導した学生の1人は沖縄県外国人による弁論大会にも出場し、優秀賞を獲得した。 2. 中小企業庁の「地域中小企業の人材確保、定着支援事業」に応募し、補助金を獲得した。沖縄県内で就職意欲がある留学生を発掘し、企業との橋渡しをした結果、7名の学生が中小企業に内定を得た。 3. 那覇西高校の外国語クラス及び一般クラスに留学生を2度にわたって派遣し、文化交流を推進した。		
管理運営	0.10	1. 21世紀グローバルプログラム実施検討委員会委員として与えられた任務を全うする。 2. STRPプログラム受け入れ担当教員としての責務を果たし、プログラムの発展のために協定校を訪問するなどして、交換留学による交流を促進する。 3. 学生交流専門委員会の委員として、与えられた職務を全うする。 4. 海外の留学フェアに積極的に参加し、学生の獲得に努める。 5. ハラスメント防止委員会委員としての職務を果たす。特にハラスメント調査委員としての責務を全うする。		0.10	1. 21世紀グローバルプログラム実施検討委員会委員として与えられた任務を全うした。 2. STRP及びURSEPプログラム受け入れ担当教員としての責務を果たした。プログラムの発展のために協定校(ミシガン州立大学、ウェリントン・ヴィクトリア大学、ラオス国立大学、華中科技大学、キャンベラ大学)を訪問して、交換留学による交流を促進した。 3. 学生交流専門委員会の委員として、派遣面接等を担当し、与えられた職務を全うした。 4. アメリカ、ラオス、韓国、ニュージーランド、オーストラリアの留学フェアに積極的に参加し、学生の獲得に努めた。 5. ハラスメント防止委員会委員としての職務、特にハラスメント調査委員としての責務を全うした。		
進路指導	0.10	1. 大学進学を希望している科目等履修生には日本留学試験に関する質問を適宜受け付け、自主学習の手助けをする。 2. 大学卒業後に日本または沖縄で就職を希望している短期留学生の就職相談に応じる。 3. 研究室に在室中は常にオフィスマスターとして活用し、留学生の相談には常に真摯に応じ、適切な助言を心がける。 4. 法文学部日本語教育副専攻の学生の進路相談に応じ、ニーズに合わせて適切なアドバイスをする。		0.10	1. 大学卒業後に日本または沖縄で就職を希望している短期留学生や科目等履修生については就職相談に応じ、1名が東京都内の企業に就職が内定し、1名が県内でのインターンシップが決定した。 2. JETプログラムに応募希望の交換留学生のために推薦書を作成した。 3. 研究室に在室中は常にオフィスマスターとして活用し、留学生の相談には常に真摯に応じ、適切な助言を心がけた。 4. 法文学部日本語教育副専攻の学生の進路相談に応じ、ニーズに合わせて適切なアドバイスをした。		
国際交流	0.10	1. 交換留学担当者として、積極的に海外の留学フェアに参加し、留学生の受け入れ数の増加を促進する。 2. 協定校と密に連絡を取り、ニーズに応える努力をし、交換留学制度を発展させる。 3. 新たな協定校を開拓すべく、積極的に研究交流を行なう。 4. 第4回短期留学生によるお国、大学紹介の会を実施し、派遣留学を促進する。		0.10	1. 交換留学担当者として、アメリカ、ラオス、韓国、ニュージーランド、オーストラリアの留学フェアに参加し、留学生の受け入れ数の増加を促進した。 2. 協定校と密に連絡を取り、ニーズに応える努力をし、交換留学制度を発展させるため、アメリカ、ラオス、ニュージーランド、中国、オーストラリアの協定校を訪問した。 3. 新たな協定校を開拓すべく、韓国の新羅大学、釜山外国語大学、慶熙大学及び京畿大学で研究交流を行なった。 4. 第4回短期留学生によるお国、大学紹介の会を実施し、派遣留学を促進した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			